

令和 3 年度

上田市城下まちづくり未来会議総会

上田市城下まちづくり未来会議

令和 3 年度 城下まちづくり未来会議総会 議案書

1 城下まちづくり未来会議

第 1 号議案	令和 2 年度城下まちづくり未来会議事業報告	・ ・ ・	1 頁
第 2 号議案	令和 2 年度城下まちづくり未来会議決算報告 監査報告	・ ・ ・	3 頁
第 3 号議案	令和 3 年度城下まちづくり未来会議役員について（案）	・ ・ ・	4 頁
第 4 号議案	令和 3 年度城下まちづくり未来会議事業計画（案）	・ ・ ・	5 頁
第 5 号議案	令和 3 年度城下まちづくり未来会議予算（案）	・ ・ ・	6 頁
参 考	城下まちづくり未来会議組織図	・ ・ ・	7 頁
	城下まちづくり未来会議規約	・ ・ ・	8 頁

2 城下地区自治会連合会

第 6 号議案	令和 2 年度 城下地区自治会連合会事業報告	・ ・ ・	11 頁
第 7 号議案	令和 2 年度 城下地区自治会連合会及び城下地区防災 センター決算報告 監査報告	・ ・ ・	12 頁
報 告	令和 3 年度 城下地区自治会連合会役員について	・ ・ ・	14 頁
第 8 号議案	令和 3 年度 城下地区自治会連合会事業計画（案）	・ ・ ・	15 頁
第 9 号議案	令和 3 年度 城下地区自治会連合会及び城下地区防災 センター予算（案）	・ ・ ・	16 頁

3 城下地区社会福祉協議会

第 10 号議案	令和 2 年度 城下地区社会福祉協議会事業報告	・ ・ ・	18 頁
第 11 号議案	令和 2 年度 城下地区社会福祉協議会決算報告 監査報告	・ ・ ・	20 頁
第 12 号議案	令和 3 年度 城下地区社会福祉協議会役員について（案）	・ ・ ・	21 頁
第 13 号議案	令和 3 年度 城下地区社会福祉協議会事業計画（案）	・ ・ ・	23 頁
第 14 号議案	令和 3 年度 城下地区社会福祉協議会予算（案）	・ ・ ・	24 頁

4 城下地区防犯防災協議会

第 15 号議案	令和 2 年度	城下地区防犯防災協議会事業報告	・ ・ ・	25 頁
第 16 号議案	令和 2 年度	城下地区防犯防災協議会事業決算報告 監査報告	・ ・ ・	29 頁
第 17 号議案	令和 3 年度	城下地区防犯防災協議会役員について(案)	・ ・ ・	30 頁
第 18 号議案	令和 3 年度	城下地区防犯防災協議会事業計画 (案)	・ ・ ・	31 頁
第 19 号議案	令和 3 年度	城下地区防犯防災事業予算 (案)	・ ・ ・	34 頁

5 城下地区環境建設協議会

第 20 号議案	令和 2 年度	城下地区環境建設協議会事業報告	・ ・ ・	35 頁
第 21 号議案	令和 3 年度	城下地区防犯防災協議会役員について(案)	・ ・ ・	37 頁
第 22 号議案	令和 3 年度	城下地区防犯防災協議会事業計画 (案)	・ ・ ・	38 頁

令和2年度城下まちづくり未来会議事業報告

1 総括

平成29年6月に「城下まちづくり未来会議」が設置され令和2年度で4か年目の事業年度が終了しましたが、特に今年度は、世界規模での新型コロナウイルス禍の非常事態に鑑み、当初計画に位置づけられた事業については、緊急性の度合いを勘案する中で、厳選してその取り組みを進めました。

結果として、「城下地区まちづくり計画の策定」事業については、令和3年度以降に先送り、研修会、講演会等の事業については中止といたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の一日も早い収束を願いつつ、今後とも城下地区住民の皆様の御支援、御協力をいただき「安全・安心で、住み良い城下地域」の実現を目指してまいります。

2 事業計画に基づく事業等

(1) 令和2年度城下まちづくり未来会議定期総会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面議決の方式による総会とし、全ての議案について御承認をいただきました。

(2) 城下まちづくり未来会議拡大三役会の開催

(1)と同じく新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、城下まちづくり未来会議役員で構成される定例の役員会については、通年での開催を見送りとし、代替措置として、会長、副会長(3人)、会計、事務局長による拡大三役会を毎月開催し、協議・調整を行いました。

(3) 上田市長へ住民要望書の提出

令和2年6月30日、正副会長、宮下相談役の5名が上田市役所を訪問

し、土屋陽一市長に「令和２年度城下まちづくり未来会議要望書」を提出し、市長他関係部課長との意見交換を行いました。

本要望書については、長野県上田建設事務所長、同上田地域振興局長、上田市社会福祉協議会長各位へそれぞれ提出をいたしました。

(４) 上田市サテライト市長室への参加

令和２年７月２９日、城南公民館において「サテライト市長室」が開催され、会長ほか６名の役員が出席し、土屋陽一市長に次の項目について要望等を行い、懇談をいたしました。

- ① 城下地区排水路の早期実施について
- ② 城下小学校通学路の安全対策について
- ③ 廃屋の危険対策について
- ④ 民間事業者が計画している土石流危険溪流周辺への
メガソーラー発電施設について
- ⑤ 緊急時における適正な避難場所と緊急時伝達方法について

３ 令和３年度以降へ先送りした事業

(１) 「城下地区まちづくり計画の策定」事業

令和元年度に実施した住民アンケートの結果を参考にし、今年度策定する予定でしたが、コロナ禍の状況において専門委員会を設置し、協議等を進めることができ得なかったことから、令和３年度以降の事業計画に位置付けて取り組むことといたしました。

(２) 防災備蓄庫設置事業

令和元年１１月の台風１９号災害の状況に鑑み、上田市からの交付金を活用し、城下地区防災センター敷地内に「防災備蓄庫」を設置すべく予算措置をいたしましたが、上田市と協議する中で、(１)と同じく令和３年度以降の事業計画に位置付けて取り組むことといたしました。

第2号議案

令和2年度城下まちづくり未来会議決算

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

会長 沓掛 勝也

会計 今井 洋幸

収入総額 3,232,007円

支出総額 3,231,963円

差引金額 44円

(収入の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C) = (B-A)	備 考
1. 交付金	交付金	4,894,000	3,231,963	△ 1,662,037	まちづくり計画提出無し 令和2年度交付金3,500,000円 上田市へ返金 268,037円
3. 雑収入	雑入	0	17	17	利息
4. 繰越金	繰越金	27	27	0	
	合 計	4,894,027	3,232,007	△ 1,662,020	

(支出の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C) = (B-A)	備 考
1. 運営費・活動費	報酬	491,000	491,000	0	役員手当 未来480千 環建協11千
	賃金	1,027,000	977,390	△ 49,610	事務局員賃金12ヶ月
	報償費	50,000	18,320	△ 31,680	研修費他
	旅費	46,000	14,116	△ 31,884	高速代、交通費他
	消耗品費	171,000	261,406	90,406	事務用品、椅子、コロナ対策用品、/ボ リ旗他
	燃料費	20,000	2,976	△ 17,024	レンタル車両ガソリン代
	食糧費	165,000	62,565	△ 102,435	お茶代
	印刷製本費	1,375,000	576,400	△ 798,600	総会1要望13回答21まちづくり通信15 地図3チラシ5
	光熱水費	3,000	0	△ 3,000	
	修繕料	5,000	0	△ 5,000	
	通信運搬費	120,000	138,366	18,366	電話、ネット、切手代他
	手数料	4,700	29,678	24,978	振込料、のぼり等廃棄処理代
	保険料	0	0	0	
	委託料	300,000	200,000	△ 100,000	環境整備・HPメンテナンス委託
	使用料及び賃借料	396,000	314,700	△ 81,300	事務所賃借料22000×12ヶ月 HPサーバーレンタル1000×12ヶ月
	原材料費	0	1,296	1,296	防災訓練原材料等
	備品購入費	100,000	143,750	43,750	プリンタ、プロジェクトスクリーン
	負担金	10,000	0	△ 10,000	
2. 予備費	予備費	610,327	0	△ 610,327	
	合 計	4,894,027	3,231,963	△ 1,662,064	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和3年4月6日

監事

岡部 昭男

㊞

監事

柴田 大八

㊞

第3号議案

城下まちづくり未来会議役員(案)

任期：会長、副会長、事務局長及び会計 承認された日から令和5年3月31日まで

その他の役員 承認された日から令和4年3月31日まで

(敬称略)

番号	役 職 名	氏 名	所属団体等	自治会
1	会 長	増澤 吉雄	社会福祉協議会	中 村
2	副 会 長	中澤 照夫	城下まちづくり未来会議	中之条
3	副 会 長	小林 久敏	防犯防災協議会	諏訪形
4	副 会 長	西入 直喜	環境建設協議会	小 牧
5	副 会 長	市川 泉	自治会連合会	三好町
6	事務局長	高橋 義幸	社会福祉協議会	中之条
7	会 計	今井 洋幸	城下まちづくり未来会議	諏訪形
8	委 員	宮島 弘	自治会連合会	小 牧
9	委 員	稲垣 敦史	自治会連合会	諏訪形
10	委 員	手塚 三博	自治会連合会	須 川
11	委 員	岡本 有右	自治会連合会	中 村
12	委 員	川口 博司	自治会連合会	朝日ヶ丘
13	委 員	河面 清	自治会連合会	御 所
14	委 員	土屋 恵嗣	自治会連合会	中之条
15	委 員	柴田 大八	自治会連合会	千曲町
16	委 員	手塚 博明	防犯防災協議会	須 川
17	委 員	山口 節美	社会福祉協議会	御 所
18	委 員	小川 節子	社会福祉協議会	御 所
19	委 員	前橋 利江	社会福祉協議会	須 川
20	監 事	田玉 治實	自治会連合会	御 所
21	監 事	沓掛 勝也	城下まちづくり未来会議	御 所
22	顧 問	小坂井 正明	防犯防災協議会	御 所
23	顧 問	小野澤 義和	環境建設協議会	中 村
24	相 談 役	宮下 省二	市議会議員	諏訪形
25	地域担当職員	滝沢 昌樹	城南公民館	

第4号議案

令和3年度 城下まちづくり未来会議事業計画（案）

1 安全安心な地域づくりの推進

城下地区の9自治会と連携を密にし、上田市、長野県ほか行政機関や上田市社会福祉協議会ほか各種団体の協力を得て地域の課題解決に努めると共に、それぞれの自治会の枠を超えた広域的な視点に立って、安全・安心な地域づくりの取り組みを進めます。

2 城下地区まちづくり計画の策定

令和元年度に実施した城下地区住民アンケートの結果を参考にし、専門委員会等を設置し、「城下まちづくり計画」の策定に取り組みます。

3 城下地区4団体の活動支援

城下地区自治会連合会、城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯防災協議会及び城下地区環境建設協議会の活動支援を行います。

4 城下地区住民への広報活動の推進

広報誌「城下まちづくり通信」やホームページなどを通して、城下まちづくり未来会議及び構成団体の活動状況を地域住民にお知らせし、住民協働による地域づくりを進めます。

5 川辺泉田まちづくり協議会との連携

川辺泉田まちづくり協議会と連携を図り、城南地域の課題解決に向けた取り組みを進めます。

第5号議案

令和3年度城下まちづくり未来会議予算(案)

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

会長 増沢 吉雄

会計 今井 洋幸

収入総額	3,500,044円
支出総額	3,500,044円
差引金額	0円

(収入の部)

(単位：円)

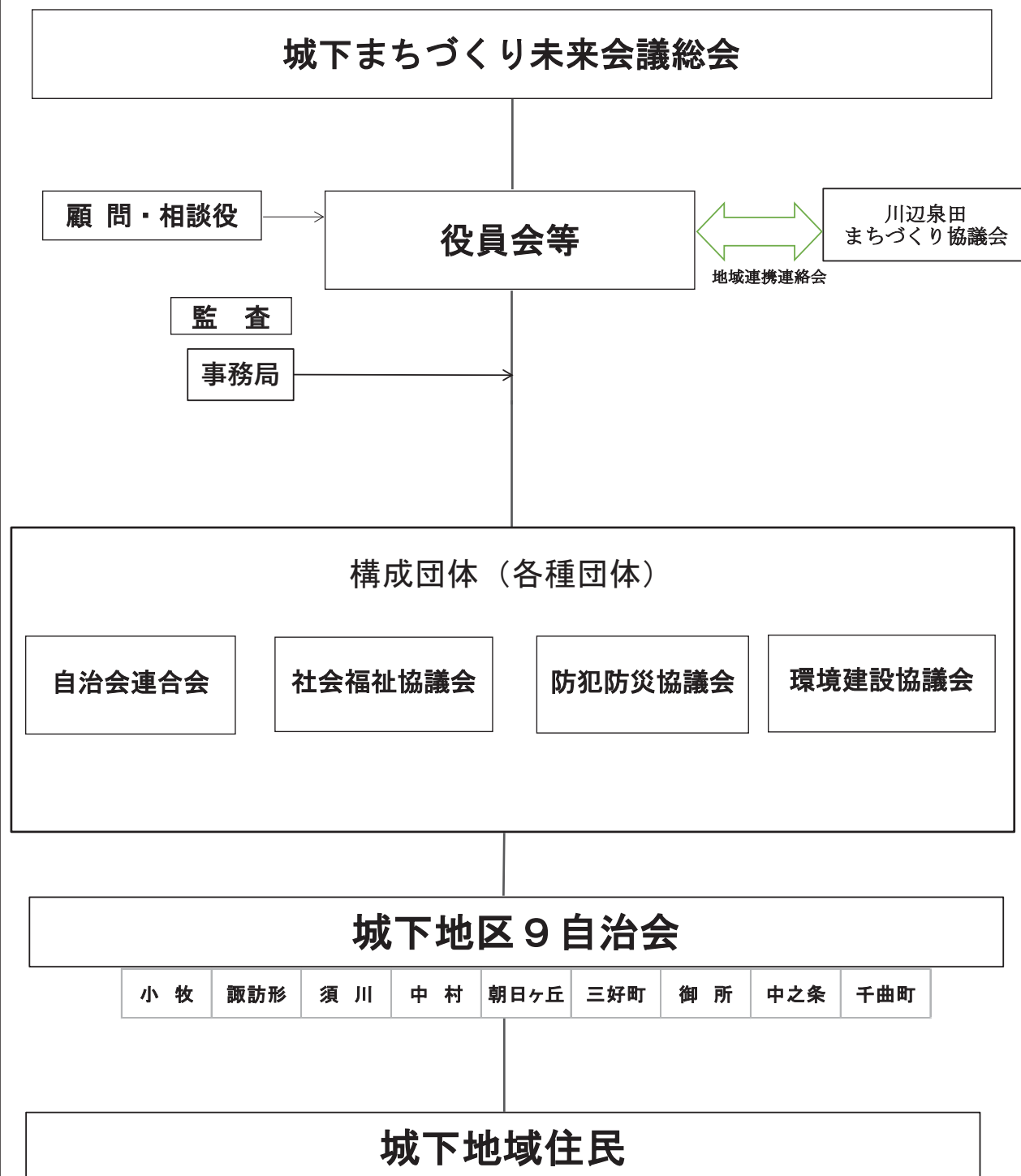
項目	上田市科目	前年度予算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
1. 交付金	交付金	4,894,000	3,500,000	△ 1,394,000	
2. 雑収入	雑入			0	利息
3. 繰越金	繰越金	27	44	17	
	合 計	4,894,027	3,500,044	△ 1,393,983	

(支出の部)

(単位：円)

項目	上田市科目	前年度予算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
1. 運営費・活動費	報酬	460,000	460,000	0	役員報酬
	賃金	1,027,000	1,027,000	0	事務局員賃金
	報償費	96,000	86,000	△ 10,000	講師謝礼
	旅費	50,000	15,000	△ 35,000	
	消耗品費	250,000	200,000	△ 50,000	紙インク等事務用品雑貨他
	燃料費	10,000	10,000	0	
	食糧費	165,000	100,000	△ 65,000	お茶他
	印刷製本費	1,375,000	835,000	△ 540,000	会報・総会資料
	光熱水費	3,000	3,000	0	防災センター冷暖房費
	修繕料	5,000	0	△ 5,000	
	通信運搬費	150,000	100,000	△ 50,000	電話ネット切手
	手数料	5,000	3,000	△ 2,000	振込料他
	保険料	0	0		
	委託料	300,000	100,000	△ 200,000	HPメンテナンス
	使用料及び賃借料	400,000	306,000	△ 94,000	事務所家賃、HPサーバーレンタル
	原材料費	0	0	0	
	備品購入費	200,000	100,000	△ 100,000	
	負担金	0	0	0	
2. 予備費	予備費	398,000	155,044	△ 242,956	次年度繰越金含む
	合 計	4,894,000	3,500,044	△ 1,393,956	

城下まちづくり未来会議 組織図



城下まちづくり未来会議規約

(名称)

第1条 この会は、城下まちづくり未来会議（以下「まちづくり未来会議」という。）と称する。

(区域)

第2条 まちづくり未来会議の区域は、上田市城下地域とする。

(目的)

第3条 まちづくり未来会議は、城下地域の住民が相互に連絡調整を図り、地域の活性化、住民福祉の向上に寄与するとともに、住民による住みよいまちづくり、未来づくりを推進することを目的とする。

(事務所)

第4条 まちづくり未来会議の事務所は、上田市諏訪形1160番地2 信州うえだ農業協同組合上田西支所城下店内に置く。

(事業)

第5条 まちづくり未来会議は、次の事業を行う。

- (1) 地域の振興と課題解決に向けた事業の企画、実施に関すること。
- (2) その他、目的達成に必要な事項に関すること。

(構成団体)

第6条 まちづくり未来会議には、次の構成団体をもって構成する。

- (1) 城下地区自治会連合会
- (2) 城下地区社会福祉協議会
- (3) 城下地区防犯防災協議会
- (4) 城下地区環境建設協議会
- (5) その他会長が必要と認めた部会及び委員会

(役員)

第7条 まちづくり未来会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 会計 1人
- (4) 事務局長 1人
- (5) 委員 15人以内
- (6) 監事 2人

2 役員は、第6条に規定する構成団体が推薦する者をもって構成する。

3 会長、副会長、会計、事務局長及び監事は、役員員の互選により選任し、総会において承認する。ただし、任期の途中で欠けた場合は、役員会で選出する。

4 会長は、委員を推薦することができる。

(役員の職務)

第8条 会長は、会務を総理し、まちづくり未来会議を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 3 委員は、まちづくり未来会議の運営に必要な会務を行う。
- 4 会計は、まちづくり未来会議の会計を行う。
- 5 事務局長は、事務局を掌理する。
- 6 監事は、まちづくり未来会議の会計を監査する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、会長、副会長、会計及び事務局長は2年とし、委員及び監事は1年とする。
ただし、再任は妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は補充することができる。この場合の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員の任期が満了したときは、当該役員は、後任者が任命されるまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(顧問)

第10条 まちづくり未来会議に顧問及び相談役を置くことができる。

- 2 顧問及び相談役は役員会において決定し、会長が委嘱する。

(総会)

第11条 総会は、会長が招集し、公開で行う。

- 2 総会は、代議員制とする。
- 3 会長、副会長、会計及び事務局長は、代議員となることができない。
- 4 総会は、代議員の過半数以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- 5 総会の議長は、代議員が互選する。
- 6 総会は、年1回定期に開催する。ただし、会長が必要と認めた場合、臨時に開催することができる。
- 7 代議員の4分の1以上の請求があったときは、会長は総会を招集しなければならない。
- 8 総会は、次の事項について議決する。
 - (1) 規約の改廃に関すること。
 - (2) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (3) 予算及び決算に関すること。
 - (4) まちづくり計画に関すること。
 - (5) その他会長が必要と認めること。
- 9 代議員の選出については、別表に定める。
- 10 代議員の任期は1年とし、定期総会から翌年の定期総会の前日までとする。
- 11 総会の議事は、出席代議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。
- 12 第8項各号の事項について、緊急を要するときは、役員会の決定をもって総会の議決に代えることができる。
- 13 前項の規定により決定した事項は、総会で報告し承認を得るものとする。

(役員会)

第12条 まちづくり未来会議に役員会を置き、第7条の役員をもって構成する。

2 役員会は、会長が招集し、会長が議長となる。

3 役員会は、次の事項について協議する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会により付託された事項

(3) まちづくり未来会議の運営及び執行に関する事項

(4) その他会長が必要と認めた事項

4 会長は、必要に応じて、役員以外の者を役員会に出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務局)

第13条 まちづくり未来会議に事務局を置く。

2 会長は、事務局員を任命する。

(経費)

第14条 まちづくり未来会議の経費は、交付金その他の収入をもって充てる。

(事業年度)

第15条 まちづくり未来会議の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(会計年度)

第16条 まちづくり未来会議の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(補則)

第17条 この規約に定めるもののほか、この規約の施行に関し必要な事項は、
会長が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成29年6月17日から施行する。

2 平成30年6月23日一部改正

3 まちづくり未来会議の設立時の役員は、第9条第1項の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。

4 令和2年4月1日一部改定

別表 (第11条 第9項関係)

(1) 各自治会が推薦する者

(2) 次に挙げる団体が推薦する者

ア 城下地区防犯防災協議会

イ 城下地区環境建設協議会

ウ 城下地区社会福祉協議会

(3) その他、会長が必要と認める団体が推薦する者

令和2年度城下地区自治会連合会事業報告

1 総括

防災対策の再構築と、新型コロナウイルス感染症の拡大対策が、重点課題となりました。会議を開けない時期もあり、活動に支障を来しました。

2 地区自治会連合会の事業

- (1) 毎月定例の城下地区9自治会長会を開催し、情報の共有化をしました。
- (2) 新型コロナウイルス感染症にかかるイベント等の開催基準について情報共有し、河川清掃、夏祭り、敬老会等の開催について協議・情報交換しました。
- (3) 新型コロナウイルス感染症のため、会議開催に困難をきたし、メーリングリストを構築することで対処しました。また、Zoomによる会議も部分的に取り入れました。
- (4) 上田交通安全協会城下支会の規約改正に伴う、集金方法の変更について審議し、城下安全協会費を自治会として支出する方向に意見集約しました。
- (5) 城南地区青少年育成会議に参画し、子どもたちの健全な育成に取り組みました。

3 安全・安心なまちづくり

- (1) 上田市自治会連合会の市政懇談会において、城下地区を中心とする災害対策について、市に要請しました。
- (2) 災害時メール配信システムの試験配信について、情報共有しました。
- (3) あいさつ声かけ運動への参加を通じて、地域の交通安全確保に向けた取り組みを行いました。
- (4) 城下地区防犯防災協議会の主催する台風19号の被災地の視察研修に参加しました。

第7号議案

令和2年度城下地区自治会連合会決算

期間（平成2年4月1日～令和3年3月31日）

会 長 渡邊 規夫
会 計 細川 義雄

収入 合計額	493,939	円
支出 合計額	137,550	円
差引残高	356,389	円

収 入 の 部

単位：円

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内容
A	繰 越 金	227,556	227,556	0	前年度繰越金
B	負 担 金	165,040	157,640	△ 7,400	9自治会負担金(40円×3,941戸)
C	助 成 金	130,000	104,900	△ 25,100	上田市自治会連合会(地区活動費、事務委託料)環境衛生協議会 上田市社会福祉協議会 城下まちづくり未来会議
D	使 用 料	25,000	3,840	△ 21,160	プリンター印刷使用料(自治連備品)
E	雑 収 入	120,000	3	△ 119,997	会議等負担金 ご祝儀 預金利息
F	繰 入 金	0			
	合 計	667,596	493,939	△ 173,657	

支 出 の 部

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内容
1	会 議 費	240,000	0	△ 240,000	総会、新旧役員引継会、役員会
2	研 修 費	30,000	0	△ 30,000	役員視察研修負担金
3	交 際 費	50,000	0	△ 50,000	上田市自治連懇親会 各団体懇親参加祝儀 他
4	負担金補助及び交付金	110,000	74,550	△ 35,450	県保護観察協会 城南地区青少年育成市民会議 別所線存続期成同盟会会費 城南地区運動会 慰霊碑建立 他
5	消 耗 品 費	30,000	0	△ 30,000	自治連備品消耗品代
6	印 刷 費	10,000	0	△ 10,000	
7	修 繕 費	10,000	0	△ 10,000	
8	役 員 手 当	67,000	63,000	△ 4,000	役員(9名)・顧問(1名)
9	旅 費 交 通 費	20,000	0	△ 20,000	
10	予 備 費	100,596	0	△ 100,596	城下防犯防災協議会へ戻金
	合 計	667,596	137,550	△ 530,046	

会計監査

令和3年4月3日 一般会計監査を実施しました。

会計帳簿、領収書を精査した結果、収支共明確であり決算は適正である事を承認します。

監 事 田玉 治實 印
監 事 鋒城 康弘 印

令和 2 年度城下地区防災センター決算

期間 (令和2年度年4月 1 日～令和3年3月31日)

管理者 西澤 信義
会 計 細川 義雄

収入総額	911,859 円
支出総額	616,708 円
差引残高	295,151 円

収 入 の 部 単位 : 円

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
A	繰 越 金	248,859	248,859	0	前年度繰越金
B	施 設 使 用 料	500,000	530,858	30,858	ホール・和室使用料
C	電 気 使 用 料	100,000	132,140	32,140	エアコン使用料、分団負担電気料
D	積 立 金 解 約	0	0	0	
E	雑 収 入	4	2	△ 2	貯金利息
	合 計	848,863	911,859	62,996	

支 出 の 部

	項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	内 容
1	会 議 費	10,000	0	△ 10,000	
2	管 理 報 酬 費	80,000	82,000	2,000	運営委員 (2名) 20,000円清掃分
3	消 耗 品 費	20,000	19,392	△ 608	トイレ用品・除草 剤他
4	修 繕 費	100,000	0	△ 100,000	畳張替え 誘導灯バッテリー交換
5	研 修 費	0	0	0	
6	光 熱 水 費	400,000	410,916	10,916	電気、ガス、上下水道
7	委 託 料 費	120,000	104,400	△ 15,600	清掃、草刈り、防災管理
8	備 品 購 入 費	10,000	0	△ 10,000	消火器
9	事 務 ・ 印 刷 費	5,000	0	△ 5,000	事務消耗品
10	積 立 金	0	0	0	定期貯金へ
11	予 備 費	103,863	0	△ 103,863	のぼり旗ボール処分代
	合 計	848,863	616,708	△ 232,155	

積 立 金 (令和3年3月31日)

預 入 番 号	使 途 目 的	金 額	明 細
0001	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,026	1年定期貯金 期日 (R4. 3. 3) 信州うえだ農協 上田西支所
0002	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,954	1年定期貯金 期日 (R3. 8. 26) 信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 501,921	1年定期貯金 期日 (R3. 6. 17) 信州うえだ農協 上田西支所
0004	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 200,068	1年定期貯金 期日 (R3. 3. 28) 信州うえだ農協 上田西支所
合 計		¥1,302,969	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和 3 年 4 月 3 日

監 事 田 玉 治 實 ㊞

監 事 鋒 城 康 弘 ㊞

令和 3 年度 城下地区自治会連合会役員

(敬称略)

役 職 名	氏 名	自 治 会
会 長	市 川 泉	三 好 町
副 会 長	稲 垣 敦 史	諏 訪 形
副 会 長	河 面 清	御 所
会 計	土 屋 恵 嗣	中 之 条
評 議 員	宮 島 弘	小 牧
評 議 員	川 口 博 司	朝 日 が 丘
評 議 員	柴 田 大 八	千 曲 町
監 事	岡 本 有 右	中 村
監 事	手 塚 三 博	須 川
防災センター管理者	柴 田 大 八	千 曲 町
顧 問	渡 邊 規 夫	中 村

令和3年度城下地区自治会連合会事業計画（案）

1 基本方針

城下地区自治会連合会は、当地区9自治会に共通する諸課題の解決に向け、関係機関・団体と一体となりその取り組みを進めてまいります。

また、城下まちづくり未来会議を構成する各団体と連携・協働のもと、「安全で安心な地域づくり」の実現に努めてまいります。

特に一昨年の台風19号災害を教訓として、地域全体での防災対策に引き続き取り組むとともに、新型コロナ感染防止の観点から会議は極力少人数、短時間となるよう工夫し、メーリングリストの活用やZoom等の活用により感染の危険が減少するように努めます。

2 城下地区自治会連合会の事業

（1）毎月城下地区9自治会長定例会を開催し、情報の共有化を図る中で各自治会事業が円滑に推進できるよう調整に努めます。

（2）城下まちづくり未来会議を構成する城下地区社会福祉協議会、城下地区防犯・防災協議会、城下地区環境建設協議会と連携し、上田市等への要望活動に取り組みます。

（3）川辺・泉田まちづくり協議会と連携し、城南地域のまちづくりに必要な事業にとりくんでまいります。

（4）上田市消防団第6分団の新規団員の確保に向けた協力、支援に努めます。

（5）城南公民館、城南地区青少年育成市民会議等の主催事業に参画し、城下地区住民の福祉向上に努めます。

3 安全・安心なまちづくり事業の推進

（1）災害に強いまちづくりを目指し、行政と連携しながら中核となる城下地区防犯・防災協議会と連携し、広域的な防災対策に取り組んでまいります。

（2）住宅化が急速に進展する地域事情に鑑み、上田市交通安全協会城下支会との連携を密にする中で、交通事故の防止に向けた安全対策に取り組んでまいります。

（3）少子高齢化社会における福祉課題の解決に向け、城下地区社会福祉協議会と連携して取り組みを進めてまいります。

第 9 号議案

令和3年度城下地区自治会連合会予算(案)

期間（令和 3 年4月 1 日より令和 4 年 3 月 3 1 日）

会 長 市川 泉
会 計 土屋 恵嗣

収入総額	719,029	円
支出総額	719,029	円
差引残高	0	円

収 入 の 部

単位 : 円

	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内 容
A	繰 越 金	227,556	356,389	128,833	前年度繰越金
B	負 担 金	157,640	157,640	0	9自治会負担金(世帯数×40円)
C	助 成 金	104,900	100,000	△ 4,900	上田市自治連(地区活動費、事務委託料) 上田市環境衛生協議会 長野県共同募金他
D	使 用 料	3,840	5,000	1,160	プリンター印刷使用料(自治連備品)
E	雑 収 入	3	100,000	99,997	会議等負担金
F	繰 入 金	0	0	0	
	合 計	493,939	719,029	225,090	

支 出 の 部

	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内 容
1	会 議 費	0	240,000	240,000	総会、新旧役員引継ぎ会、役員会
2	研 修 費	0	30,000	30,000	先進地視察研修
3	交 際 費	0	50,000	50,000	上田市自治連懇親会 他
4	負担金補助及び交付金	74,550	110,000	35,450	城南地区運動会 城南地区青少年育成市民会議 別所電車存続期成同盟会
5	消 耗 品 費	0	30,000	30,000	自治連備品消耗品代
6	印 刷 費	0	10,000	10,000	資料印刷等
7	修 繕 費	0	10,000	10,000	
8	役 員 手 当	63,000	63,000	0	役員・顧問(10名)
9	旅 費 交 通 費	0	20,000	20,000	
10	予 備 費	0	156,029	156,029	
	合 計	137,550	719,029	581,479	

積 立 金		(令和3年3月31日)		
預 入 番 号	使 途 目 的	金 額	明 細	
0001	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,026	1年定期貯金 期日(R4.3.3)	信州うえだ農協 上田西支所
0002	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 300,954	1年定期貯金 期日(R3.8.26)	信州うえだ農協 上田西支所
0003	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 501,921	1年定期貯金 期日(R3.6.17)	信州うえだ農協 上田西支所
0004	城下地区防災センター 改修積立金	¥ 200,068	1年定期貯金 期日(R3.3.28)	信州うえだ農協 上田西支所
合 計		¥ 1,302,969		

令和3年度城下地区防災センター予算(案)

期間（令和3年4月1日より 令和4年3月31日）

管理者 柴田 大八

会 計 土屋 恵嗣

収入総額	895,153	円
支出総額	895,153	円
差引残高	0	円

収 入		単位 : 円			
	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内容
A	繰 越 金	248,859	295,151	46,292	前年度繰金
B	施 設 使 用 料	530,858	500,000	△ 30,858	ホール・和室使用料
C	電 気 使 用 料	132,140	100,000	△ 32,140	エアコン使用料、分団負担電気料
D	積 立 金 解 約	0	0	0	
E	雑 収 入	2	2	0	貯金利息
	合 計	911,859	895,153	△ 16,706	

支 出					
	項 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	内容
1	会 議 費	0	10,000	10,000	運営会議
2	管 理 報 酬 費	82,000	80,000	△ 2,000	運営委員（9名）40,000円 セブンイレブン 40,000円
3	消 耗 品 費	19,392	20,000	608	スリッパ・トイレ用品・除草剤他
4	修 繕 費 費	0	100,000	100,000	
5	研 修 費	0	0	0	
6	光 熱 水 費	410,916	450,000	39,084	電気、ガス、上下水道
7	委 託 料 費	104,400	120,000	15,600	清掃、草刈り、防災設備管理
8	備 品 購 入 費	0	10,000	10,000	
9	事 務 ・ 印 刷 費	0	5,000	5,000	事務消耗品
10	積 立 金	0	0	0	定期貯金積立
11	予 備 費	0	100,153	100,153	
	合 計	616,708	895,153	278,445	

令和 2 年度 城下地区社会福祉協議会事業報告

城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治連、防犯防災、環境建設協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めて参りました。

1 主な会議等

- (1) 城下地区 4 団体打ち合せ(上田市等への要望事項検討)・・・4 月 20 日(土)
- (2) 第 1 回城下地区福祉推進協議会・・・・・・4 月 18 日(土) コロナウイルス感染防止の観点から中止
- (3) 上田市社協、地区社協正副会長会議・・・コロナウイルス感染防止の観点から中止
- (4) 城下まちづくり未来会議合同理事会・・・・5 月 18 日(土)
- (5) 城下まちづくり未来会議総会・・・・・・コロナウイルス感染防止の観点から中止(4月25日) 議案書を郵送、書面議決書にて可決
- (6) 城下まちづくり未来会議定例会議
- (7) 城下地区防災訓練関連会議
- (8) 第 14 回上田市社会福祉大会・・・・・・10 月 26 日(月)
コロナウイルス感染防止の観点から規模を縮小して開催(表彰のみ)
- (9) 第 2 回城下地区福祉推進協議会・・・・・・11 月 17 日(火)
- (10) 会計監査・・・・・・令和 3 年4月 4 日(土)

2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入(各自治会単位)
普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応・・・6 月末
・普通会費収納額 合計 2,031,500 円
- (2) 城下地域包括支援センター担当地区内【介護保険サービス事業所】の紹介
全戸配布 4,700 枚
- (3) あいさつ運動の推進(新規事業平成29年度より開始)
・「城下 あいさつ・声かけ運動」実行委員会 6月
新型コロナウイルスの感染拡大のため中止
・街頭活動
 - 1) 全国強調月間に合せて、早朝より約 1 時間城下地区内 25 ヶ所一斉に実施
実施日:①7 月 1 日(水) ②11 月2日(月) ③3 月 1 日(月)
 - 2) 標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕を各月 1 ヶ月間、三好町歩道橋に2面設置、啓発活動を行う。
 - 3) あいさつ運動チラシ全戸配布(7月)

- ・昨年と同様、地区内の皆様方によりご理解・ご協力を頂くためチラシを配布。
(自治会会員及び関係団体等へ 4, 557 枚)

(3) 城下地区研修会 11 月 17 日(火) 午後7時～

- ・講師 小竹 秀典氏 (コタケ薬局薬剤師、前小牧自治会福祉推進委)
- ・演題「冬に向けての健康管理と薬の使い方」 出席者 16 名

※例年住民会議(福祉講演会)を開催してきましたが、本年は新型コロナウイルス感染症のため規模を縮小し、上田市社会福祉協議会・城下地区福祉推進協議会と協賛で研修会を開催しました。

(4) 城下地区防犯防災協議会、視察研修会参加(千曲市、長野市長沼地区)
9 月 7 日(土)

(5) 自治会支部社協で行なう、地域ふれあい事業の推進・・・4 月～12 月
(ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等)

本年は新型コロナウイルス感染症のため、各支部の活動も制限されました。

(6) 自治会支部社協で行なう、福祉活動に対し支援。

- ・助成金 9 自治会へ 206, 680 円
- ・民生児童委員会、福祉推進協議会へ各 10,000 円

第 11 号議案

令和2年度 城下地区社会福祉協議会決算

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

会 長 増澤 吉雄
会 計 今井 洋幸

収入合計額	459,293円
支出合計額	322,769円
差引残高	136,524円

(収入の部)

(単位;円)△は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	154,568	154,568	0	
助成金	310,000	304,725	△ 5,275	上田市社会福祉協議会費還付金
雑収入	3,000	0	△ 3,000	
合計	467,568	459,293	△ 8,275	

(支出の部)

(単位;円)△は減額を示す

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	6,000	0	△ 6,000	
研修費	40,000	13,092	△ 26,908	住民会議(研修会)
消耗品費	6,000	7,697	1,697	事務用品
印刷費	0	47,300	47,300	城下地域包括支援センター担当地区内【介護保険サービス事業所】の紹介、全戸配布4700枚
助成金	230,000	223,680	△ 6,320	自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 民生児童委員会 10,000円 福祉推進委員会 10,000円
役員手当	32,000	29,000	△ 3,000	18名
旅費交通費	5,000	1,560	△ 3,440	
予備費	148,568	440	△ 148,128	振込手数料
合計	467,568	322,769	△ 144,799	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、全て適正に処理されていることを認めます。

令和3年 4月 3日

監 事
監 事

田玉 治實 (印)
鋒城 康弘 (印)

第 12 号議案

令和3年度 城下地区社会福祉協議会役員（案）

（敬称略）

番号	役職名	氏 名	選出区分	自治会
1	会 長	高橋 義幸	令和2年度地区福祉協議会副会長	中之条
2	副会長	上野 和利	地区民生児童委員会会長	須川
3	副会長	窪田 和人	地区福祉推進協議会会長	諏訪形
4	副会長	市川 泉	地区自治会連合会会長・三好町自治会長	三好町
5	会 計	今井 洋幸	まちづくり未来会議会計	諏訪形
6	理 事	西入 直喜	地区環境建設協議会会長	小牧
7	理 事	小林 久敏	地区防犯防災協議会会長	諏訪形
8	理 事	手塚 三博	須川自治会長	須川
9	理 事	川口 博司	朝日ヶ丘自治会長	朝日ヶ丘
10	理 事	宮島 弘	小牧自治会長	小牧
11	理 事	岡本 有右	中村自治会長	中村
12	理 事	稲垣 敦史	諏訪形自治会長	諏訪形
13	理 事	河面 清	御所自治会長	御所
14	理 事	土屋 恵嗣	中之条自治会長	中之条
15	理 事	柴田 大八	千曲町自治会長	千曲町
16	理 事	前橋 利江	城下地域包括支援センター所長	小牧
17	監 事	田玉 治寛	まちづくり未来会議監事	御所
18	監 事	沓掛 勝也	まちづくり未来会議監事	御所
1	顧 問	宮下 省二	24年度自治連会長	諏訪形
2	顧 問	増澤 吉雄	令和2年度地区福祉協議会会長	中村

令和3年度 城下地区社会福祉協議会

(敬称略)

役 職 名		氏 名	自治会名	役 職	氏 名
会長 (2年度地区福祉協議会会長)		高橋 義幸	朝日ヶ丘	自治会長	川口 博司
副会長 (地区民生児童委員会会長)		上野 和利		副自治会長	坂本 喜孝
副会長 (地区福祉推進協議会会長)		窪田 和人		民生児童委員	宮入 鏡
副会長 (3年度地区自治連会長)		市川 泉		福祉推進委員	手塚 雅夫
			千曲町	自治会長	柴田 大八
自治会名	役 職	氏 名		副自治会長	大倉 幸雄
三好町	自治会長	市川 泉		民生児童委員	北沢 育夫
	副自治会長	宮島 清美		//	竹内 静世
	民生児童委員	若林 恵利子		//	丸山 和枝
	社会福祉協議会長	山口 博義		社会福祉協議会長	牧野 良平
須 川	自治会長	手塚 三博	諏訪形	自治会長	稲垣 敦史
	副自治会長	手塚 博明		副自治会長	窪田 善雄
	民生児童委員	上野 和利		民生児童委員	細川 茂子
	福祉推進委員	手塚 三博		//	滝沢 裕子
中之条	自治会長	土屋 恵嗣	御 所	社会福祉協議会長	窪田 和人
	副自治会長	三木 一隆		社会部長	大沢 春美
	民生児童委員	吉原 静枝		自治会長	河面 清
	//	西澤 康彦		副自治会長	中村 哲夫
	//	藤松 則子		民生児童委員	竹中 久美子
	主任児童委員	岡村 さつき		民生児童委員	小宮 美恵子
	福祉推進委員	武井 典子		民生児童委員	小川 節子
中 村	自治会長	岡本 有右	小 牧	福祉推進委員	池内 由美子
	副自治会長	河内 昭雄		自治会長	宮島 弘
	民生児童委員	大澤 敬子		副自治会長	長坂 峯男
	//	黒田 敏子		民生児童委員	片岡 敏久
	社会福祉協議会長	渡邊 規夫		主任児童委員	長坂 和子
	社会部長	山崎 あゆみ		福祉推進委員	西 嘉一

令和3年度 城下地区社会福祉協議会事業計画(案)

城下まちづくり未来会議を構成する城下地区自治連、防犯防災、環境建設協議会、民生児童委員会、福祉推進協議会が主体となり、地域の福祉課題を持ち寄り、その問題解決に向け、上田市福祉協議会と連携を図り、福祉活動を進めて参ります。

特に、少子高齢化社会の中で、一人暮らし高齢者や、児童への見守り活動など、地域全体で支える仕組みづくりを行政などと情報交換を行い推進します。

1 会 議

- (1) 城下地区まちづくり未来会議総会……4 月
昨年同様、コロナウイルス感染防止の観点から中止
議案書を郵送、書面議決とします。
- (2) 上田市地区社協正副会長会……6 月 市ふれあい福祉センター
- (3) 城下地区社協3役会……随時
- (4) 城下地区福祉推進協議会……4 月・11 月

2 福祉活動事業

- (1) 上田市社会福祉協議会会費の納入(各自治会毎に対応)
普通会費 500 円、特別会費 1,000 円、各自治会で対応…… 6 月末
- (2) 城下地区住民会議
住民会議の開催(福祉講演会) 城下地区防災センター(11 月)
- (3) あいさつ運動の推進
 - ・目的:地域の一体感の醸成
 - ・目標:犯罪の防止、青少年の健全育成、地域社会の意識啓発
 - ・スローガン:あいさつで明るい未来のまちづくり
 - ・「城下 あいさつ・声かけ運動」街頭活動を全国強調月間に合わせ、実施
(7月・11月・3月)
 - ・長野上田線三好町歩道橋に、標語「あいさつで明るい未来のまちづくり」の横断幕 2 面を強調月間に合わせて設置、啓発活動を行う。
- (4) 上田市社会福祉大会参加(サントミュージゼ)…… 10 月頃
- (5) 各自治会支部社協で行う地域ふれあい事業の推進…… 4 月～12 月
(ふれあい昼食会、ふれあい茶話会、敬老行事等)
 - ・各自治会支部社協で行われている各事業について、情報交換及び見学参加等により連携を図る。
- (6) 各自治会支部社協で行う福祉活動に対し支援(助成)する。
- (7) 先進地視察研修

第14号議案

令和3年度 城下地区社会福祉協議会予算(案)

(令和3年年4月1日～令和4年3月31日)

会 長 高橋 義幸
会 計 今井 洋幸

収入合計額	441,524円
支出合計額	441,524円
差引残高	0円

(収入の部)

(単位:円)

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	136,524	136,524	0	
助成金	304,725	305,000	275	上田市社会福祉協議会費還付金
雑収入	0	0	0	
合計	441,249	441,524	275	

(支出の部)

(単位:円)△は減額を示す

項目	前年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	0	5,000	5,000	
研修費	13,092	40,000	26,908	住民会議、先進地視察
消耗品費	7,697	8,000	303	事務用品、切手
助成金	223,680	230,000	6,320	自治会助成金 各自治会戸数×40円+5,000円 民生児童委員会 10,000円 福祉推進委員会 10,000円
役員手当	29,000	29,000	0	役員(20名)
旅費交通費	5,079	6,000	921	
予備費	0	123,524	123,524	
合計	278,548	441,524	162,976	

令和2年度城下地区防犯防災協議会事業報告

1 城下地区防犯事業について

○ 活動スローガン

「地域のきずなで 安全・安心な まちづくり」

○ 重点推進事項

(1) 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

① 川辺交番の協力を得て、各種広報・啓発活動の推進

・屋外放送施設の活用(6カ所)や自治会役員関係者や防犯指導員の皆様に防犯パトロールを依頼し、情報と防犯活動の連携を図る。

(2) 関係機関・団体と連携した自主防犯活動の推進

① 地域における自主防犯活動の推進

- ・春の地域安全運動の実施 (4月 1日～30日)
- ・夏の地域安全運動の実施 (7月 1日～31日)
- ・全国地域安全運動の実施 (10月 1日～10月20日)
- ・年末特別警戒活動の実施 (12月15日～12月31日)

② 城下地区防犯指導員の活動

- ・城下地区防犯指導員班長・副班長を中心とした防犯活動
- ・各自治会、地区防犯協会単位で防犯活動計画を策定し、推進を図る。

③ 城下地区社会福祉協議会と協働して「城下あいさつ・声かけ運動」の実施

- ・保育園、学校等を対象に年3回実施

(3) 子ども、女性、高齢者等の安全対策の推進

① 子どもを犯罪から守る活動の推進(学校見守り活動の支援)

② 女性を犯罪から守る活動の推進

③ 少年健全育成活動・有害環境浄化活動の推進

・城下地区管内の防犯パトロールの実施

・有害環境浄化活動推進(駅前パトロール等)

④ 防犯灯の整備・充実

2 城下地区防災事業について

(1) 城下地区小中学校避難訓練に参加・指導、助言

ア 6月10日(水) 上田市立第四中学校避難訓練

新型コロナウイルス感染症から未来会議役員参加せず

学校独自に実施

イ 9月 1日 (火) 上田市立城下小学校避難訓練

新型コロナウイルス感染症から未来会議役員参加せず

ウ 9月 1日 (火) 上田市立第四中学校避難訓練

新型コロナウイルス感染症から未来会議役員参加せず

学校から実施結果について報告を頂く

エ 9月 8日 (火) 上田市立南小学校避難訓練

朝の始業前訓練

新型コロナウイルス感染症から未来会議役員参加せず

オ 11月 2日 (月) 上田市立第四中学校避難訓練 (未来会議役員7人参加)

清掃時に地震発生と火災類焼の危険について適切な避難訓練を実施

(2) 火災予防の啓発

① 春の火災予防運動 3月1日～ 3月7日

② 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

③ 火災件数（R 2.1.1～R 2.12.31） 上田市50件 城下地区内3件（建物1・車両1・その他1）

（3） 視察研修

① 7月15日（水）千曲市・長野市長沼地区（12人出向） （資料1）

ア 城下地区防災計画策定の研修として

イ 千曲市 令和元年台風19号による被災（浸水・施設）箇所の視察

- ・霞堤 堤防のある区間に開口部を設け、上流側の堤防と下流側の堤防が、
二重になるようにした不連続な堤防のこと。

- ・城下地区には、2か所小牧地籍と御所地籍に霞堤がある

ウ 長野市長沼地区

- ・長沼地区住民自治協議会柳見澤会長、小川事務局長による研修会
- ・日頃の防災意識、早めの避難、情報伝達方法や安否確認等について
- ・決壊した堤防の復旧現場を視察

（4） 上田市消防団第六分団消防委員会

① 消防団員の確保及び装備の充実

（5） その他

① 7月29日 上田市サテライト市長室開催

ア 城南公民館において、城下まちづくり未来会議と上田市長の懇談

イ 要望事項

- ・当協議会の要望事項は、「適正な避難場所と緊急伝達方法について」

② 11月11日上田市長室 「台風19号災害に伴う今後の対応について」

ー上田市長へ要望書を提出ー

視察研修 千曲市

資料 1

7月15日(水) 千曲市 霞堤の視察



地元市議会議員と市職員の方の案内で現地視察。

資料 2

霞堤の役割や機能について、説明を受ける。



視察研修 長野市長沼地区

資料 3



長沼地区支所が壊滅的被害を受けたため隣接に建てられた仮施設で対策本部設置から解散までの時系列等の説明を受ける。

資料 4

修復された堤防を前に関係者の方から当時の状況について研修をする。



第16号議案

令和2年度 城下地区防犯事業決算

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

会 長 小坂井正明

会 計 今井 洋幸

収入合計額	137,002円
支出合計額	23,890円
差引残高	113,112円

収入の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	87,002	87,002	0	
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	137,002	137,002	0	

支出の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	0	0	0	
報償費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
交通費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
活動費	50,000	0	△ 50,000	
消耗品費	0	10,890	10,890	銀行印、ゴム印
役員手当	13,000	13,000	0	役員5名（正・副・会計・顧問）
予備費	74,002	0	△ 74,002	
業務委託費	0	0	0	
合計	137,002	23,890	△ 113,112	

会計監査報告

上記につき帳簿及び証拠書類を監査した結果、すべて適正に処理されていることを認めます。

令和3年4月3日

監事 田玉 治實 (印)

監事 鋒城 康弘 (印)

第17号議案 令和3年度城下地区防犯防災協議会役員(案)

(敬称略)

役 職	氏 名	選 出 区 分	自治会
会 長	小林 久敏	城下地区防犯防災協議会長	諏訪形
副会長	市川 泉	城下自治連会長 三好町自治会長	三好町
副会長	手塚 博明	元南部消防署長 (防災)	須 川
会 計	今井 洋幸	城下まちづくり未来会議会計	諏訪形
理 事	高橋 義幸	城下地区社会福祉協議会長	中之条
理 事	西入 直喜	城下地区環境建設協議会長	小 牧
理 事	大林 裕治	上田市危機管理防災課	御 所
理 事	江村 賢一	上田警察署川辺交番所長	吉 田
理 事	宮下 省二	消防団第六分団消防委員長	諏訪形
理 事	手塚 健	消防団第六分団長	須 川
理 事	片岡誠一郎	小牧自治会長 (R2)	小 牧
理 事	細川 義雄	諏訪形自治会長 (R2)	諏訪形
理 事	渡邊 規夫	中村自治会長 (R2)	中 村
理 事	中澤 史明	三好町自治会長 (R2)	三好町
理 事	田玉 治實	御所自治会長 (R2)	御 所
理 事	西沢 信義	中之条自治会長 (R2)	中之条
理 事	鋒城 康弘	千曲町自治会長 (R2)	千曲町
理 事	手塚 三博	須川自治会長 (R2・3)	須 川
理 事	宮島 弘	小牧自治会長 (R3)	小 牧
理 事	稲垣 敦史	諏訪形自治会長 (R3)	諏訪形
理 事	岡本 有右	中村自治会長 (R3)	中 村
理 事	川口 博司	朝日ヶ丘自治会長・城下地区防犯指導員副班長 (R2・3)	朝日ヶ丘
理 事	河面 清	御所自治会長 (R3)	御 所
理 事	土屋 恵嗣	中之条自治会長 (R3)	中之条
理 事	柴田 大八	千曲町自治会長 (R3)	千曲町
理 事	小林 透	城下地区防犯指導員班長	中 村
理 事	長坂 峰男	城下地区防犯指導員副班長	小 牧
理 事	畠山 正幸	城下小学校校長	諏訪形
理 事	山邊 久史	南小学校校長	中之条
理 事	宮澤 好一	第四中学校校長	諏訪形
理 事	小池 絢奈	諏訪形女性防火クラブ隊長	諏訪形
監 事	田玉 治實	自治連監事 前御所自治会長	御 所
監 事	沓掛 勝也	前城下まちづくり未来会議会長	御 所
顧 問	宮下 省二	元城下地区自治会連合会長	諏訪形
顧 問	小坂井正明	前城下地区防犯防災協議会長	御 所
名誉会長	中村 光廣	学識経験者 (元上田市消防長)	諏訪形

令和3年度 城下地区防犯防災協議会事業計画(案)

【参 考】

(1) 上田市防犯・防災協議会の設置状況について(4地区)

- ① 城下地区防犯防災協議会(9自治会)
- ② 神科地区防犯防災協議会(16自治会)
- ③ 豊殿地区防犯防災協議会(16自治会)
- ④ 南部地区防犯防災協議会(9自治会)

1 城下地区防犯事業について

○ 活動スローガン

「みんなでつくろう安心の街・上田」

○ 重点事項

(1) 防犯意識の高揚と地域のきずなづくりの推進

① 川辺交番の協力を得て、広報・啓発活動の推進

・川辺交番等からの情報を得て、犯罪の前兆事案、不審者の出没等に際して、住民への周知を図るため、自治会屋外放送施設(城下地区内6カ所)の活用、自治会役員および防犯指導員等に防犯パトロールを依頼し、情報と防犯活動の有効的連携を図る。

② 防犯研修会・出前講座等の開催による防犯意識の醸成

・9月2日(木)サントミューゼ大ホールにおける「第6回上小地域の安全・安心まちづくり地域大会」および「防犯指導員研修会」に参加し、防犯知識の向上を図る。

(2) 関係機関・団体と連携・協働した自主防犯活動の推進

① 市内統一の地域安全運動等の実施

- 春の地域安全運動（4月6日～4月15日）
- 夏の地域安全運動（7月1日～7月31日）
- 全国地域安全運動（10月11日～10月20日）
- 年末特別警戒活動（12月15日～12月31日）

② 城下地区防犯指導員の活動

- ・ 城下地区防犯指導員班長・副班長を中心とした防犯活動の推進
- ・ 自治会、地区防犯協会単位で防犯活動計画を策定し、地域安全活動の活性化を図る。

③ 「城下あいさつ声かけ運動」の実施

- ・ 城下地区社会福祉協議会と協働して保育園、学校等で「城下あいさつ声かけ運動」を年3回行う。

(3) 子ども、女性、高齢者等の安全対策の推進

① 子どもを犯罪から守る活動の推進

- ・ 登下校時の見守り活動の支援

② 女性を犯罪から守る活動の推進

③ 高齢者を犯罪から守る活動の推進

- ・ 特殊詐欺被害防止啓発活動の推進

④ 青少年健全育成活動・有害環境浄化活動の推進

- ・ 城下地区管内の防犯パトロールの実施
- ・ 週末夜間における街頭補導の実施（駅前パトロール等）
- ・ 有害環境浄化活動の推進（有害図書類や有害玩具の自動販売機の撤去）

⑤ 自治会等の防犯灯の整備・充実

2 城下地区防災事業について

(1) 城下地区防災計画の策定

- ・今年度の重点事業で実施

(2) 城下地区防災資器材等の調査

- ・自治会および城下地区防災センター等の防災資器材の調査
- ・城下小・南小・四中の防災資器材の調査
- ・城下地区防災センターへの防災資器材倉庫設置の検討

(3) 城下地区防災訓練等の実施

- ① 9自治会合同による研修会および訓練を通じて、連帯意識の高揚を図る。
- ② 災害によって避難所が変わるため、周知を図るため研修会等の実施。

(4) 災害時における自治会間の応援体制の確立

① 城下地区災害応援協定(平成25年11月30日締結)の推進

参考:諏訪形地区災害応援協定(平成31年4月14日締結)

- ・情報の共有について
- ・防災資器材の貸借について

② 自治会屋外放送設備およびサイレン設置の研究

(5) 城下小・南小・四中内における児童・生徒の避難訓練に参加

(6) 災害時住民支え合いマップの作成および更新について

- ・市福祉課および上田市社会福祉協議会との連携により作成および更新

(7) 視察研修

- ・期日 令和3年6月25日(金)
- ・内容 上野が丘公民館に設置の神科まちづくり委員会防災倉庫および活動状況の視察研修

(8) 火災予防運動の啓発

- ① 春の火災予防運動 3月1日～ 3月 7日
- ② 秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

(9) 上田市消防団第六分団消防委員会

- ・消防団員の確保と装備の充実を図る

令和3年度 城下地区防犯事業予算(案)

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

会 長 小林 久敏

会 計 今井 洋幸

収入合計額 163,112円

支出合計額 163,112円

差引残高 0円

収入の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	前年度予算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
繰越金	87,002	113,112	26,110	
補助金	50,000	50,000	0	上田市防犯協会より
雑収入	0	0	0	
合計	137,002	163,112	26,110	

支出の部

(単位；円)△は減額を示す

項目	前年度予算額 (A)	本年度予算額 (B)	比較増減 (C)=(B-A)	備 考
会議費	0	0	0	
報償費	0	0	0	
研修費	0	30,000	30,000	子ども・女性・高齢者等を犯罪から 守る防犯研修会等の開催
交通費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
活動費	50,000	80,000	30,000	各自治会へ備品等の配布
消耗品費	0	5,000	5,000	事務用品等
役員手当	13,000	14,000	1,000	役員6名（正・副・会計・顧問）
予備費	74,002	34,112	△ 39,890	
業務委託費	0	0	0	
合計	137,002	163,112	26,110	

令和2年度 城下地区環境建設協議会事業報告

1 経 過

城下地区では、平成23年6月「城下地区社会福祉協議会」同年10月「城下地区防犯・防災協議会」を設立、情報交換を行いながら城下地区で検討し実行する体制を構築して参りました。この流れに沿って、平成24年6月「城下地区まちづくり協議会」を設立、城下地区の課題を行政に対し要望してきました。この中で城下地区4団体で構成する「城下まちづくり会議」（仮称）の早期設置を要望してきた結果、平成28年3月住民自治組織設立のための準備会「城南まちづくり会議」が設立され、住民自治組織設立のための検討を重ねてまいりました。

その結果、城南地域における新たな住民組織については、城下地区、川辺・泉田地区それぞれで「新たな住民組織」を設立することとなりました。

将来的には一本化を妨げないこと及び共通課題があれば対応することを確認しました。

平成29年6月17日（土）『城下まちづくり未来会議』が設立され、城下地区4団体はその構成団体とし従来同様の活動をしてまいります。

令和2年度に「城下地区まちづくり協議会」名を「城下地区環境建設協議会」と変更しました。

なお、自治会長の任期が1年のため、継続した活動が難しいことから任期を2年とし、環境建設協議会が城下地区の要望活動を主に行うことと致しました。

2 事 業

(1) 市・県・国等への要望について

① 城下まちづくり未来会議総会

新型コロナの関係で、書面形式で承認を得ました。

② 要 望

城下まちづくり未来会議（城下地区自治会連合会・城下地区社会福祉協議会・城下地区防犯防災協議会・城下地区環境建設協議会）の要望事項をとりまとめ
6月30日（火）上田市・長野県・上田市社会福祉協議会へ要望しました。

要望者 会長、副会長3人、相談役

③ 回 答

新型コロナの関係で、行政側からの説明会は急遽中止となりました。

(2) 東山城下地区メガソーラー設置に関する勉強会について

過年経過

- ・平成30年9月3日、上田市長に法的拘束力のある条例制定について要望。
- ・平成30年10月5日、上田市長市内3ヶ所（城下東山・長瀬金井・飯沼生田）の現地視察を行う。
- ・6月議会で「太陽光発電設備の適正な設置に関する条例」が成立しました。
- ・「上田市太陽光発電設備の設置に関する条例」勉強会 60名出席
- ・平成31年3月30日（株）日本エコロジーが、現地2ヶ所へ計画看板設置
- ・令和2年度、意思統一を図るため現地調査、勉強会を数回行いました。

(参考資料)NO1

【平成23年度】～【令和2年度】 要望箇所です完了及び一部完了箇所について

長野県関係(上田建設事務所)

- ・主要地方道長野上田線(旧143号) 都市計画道路の促進 (H24～)
三好町1丁目交差点から625mについては、**H29年度完成しました。**
青木村側赤坂交差点迄の約460mについては、用地補償進めている(進捗90%)。
- ・県道上田塩川線 諏訪形地籍の道路改良の促進 (H23～)
須川側250mは完成。上田側金窓寺交差点迄の510mについては、26年度地元説明会、用地測量を実施。H27年度9割余用地買収完了。H28年度L=100m工事完成
H29年度L=150m完成向け進めています。
- H27年度旧丸子町側舗装工事L=500m実施

長野県関係(上田地域振興局)(上田市土地改良課)

- ・須川湖の築堤部の調査診断と結果について (H24～)
H25年度に耐震調査を実施、結果をH26年9月29日地元須川自治会関係者へ
10月30日城下地区4団体役員に説明、H27年度測量調査設計。H28工事発注・完成
- ・金窓寺川の谷止工H27年9月完成
- ・須川池堤体護岸補強工事、漏水対策工事

上田市(土木課関係)

- ・市道三好町上田原線(城南医院付近より御所中之条境)迄のグリーンベルトの施工
- ・市道御所2号線(城下地区防災センター横から旧143)迄のグリーンベルトの施工
- ・市道諏訪形小牧線(ヘアースロンスワガタから小牧)へのグリーンベルトの施工
- ・市道三好町上田原線(中川酒店より東側)、の歩道整備完了
- ・市道神畑原峠線L=1,500m完成
- ・市道上田丸子線小牧橋～信州名鉄様間L=630m
- ・市道諏訪形1号線、他線へのグリーンベルトへの施行

上田市(学校関係)

- ・南小学校校庭傷んだ遊具の取り替え・新設、校門前信号機待ちスペースの確保等
- ・四中剣道場床補修、校庭ホームベース付近東側防球ネット嵩上げの施工、他
- ・城下小へ緊急時対応の排水ポンプ設置、二階渡り廊下の防御シート交換
- ・四中技術科棟、屋内体育館、プール等計画に基づき工事完了

上田市(関係各課)・団体等

- ・防犯灯のポール老朽化にともなう補助制度が制度化されました。
- ・城下地区全域の防災対策としての防災マップ作成。城下地区雨水対策への排水路計画の基礎となる業務委託が発注された。
- ・平成24年11月16日から9自治会へ回覧で周知していますが、関係各課前向きに検討されています、要望事項により経費の関係で年数を要するものも多く、また他機関管理者の許可手続き・地権者の同意等複雑な事情が関係していることから、今後も継続して要望して行くことが実現へ向け大切なことと思います。

第21号議案

令和3年度 城下地区環境建設協議会役員(案)

(敬称略)

役 職	氏 名	選 出 区 分	自治会
会 長	西 入 直 喜	令和2年度城下地区環境建設協議会副会長	小 牧
副 会 長	中 澤 照 夫	城下地区自治連会長 (R元)	中之条
副 会 長	市 川 泉	城下地区自治連会長 (R3)	三好町
理 事	高 橋 義 幸	城下地区社会福祉協議会長	中之条
理 事	小 林 久 敏	城下地区防犯防災協議会会長	諏訪形
理 事	相 田 賢 治	六か村堰土地改良区理事長	諏訪形
理 事	手 塚 博 明	城下地区防犯防災協議会副会長	須 川
理 事	宮 下 省 二	第6分団消防委員長	諏訪形
理 事	柳 澤 登美男	学識経験者	中 村
理 事	沓 掛 勝 也	元御所自治会会長	御 所
理 事	竹 内 久 子	元朝日ヶ丘自治会会長	朝日ヶ丘
理 事	片 岡 誠一郎	小牧自治会会長 (R2)	小 牧
理 事	手 塚 三 博	須川自治会会長 (R2)(R3)	須 川
理 事	細 川 義 雄	諏訪形自治会会長 (R2)	諏訪形
理 事	川 口 博 司	朝日ヶ丘自治会会長 (R2)(R3)	朝日ヶ丘
理 事	渡 邊 規 夫	中村自治会会長 (R2)	中 村
理 事	中 澤 史 明	三好町自治会会長 (R2)	三好町
理 事	田 玉 治 實	御所自治会会長 (R2)	御 所
理 事	西 澤 信 義	中之条自治会会長 (R2)	中之条
理 事	鋒 城 康 弘	千曲町自治会会長 (R2)	千曲町
理 事	宮 島 弘	小牧自治会会長 (R3)	小 牧
理 事	稲 垣 敦 史	諏訪形自治会会長 (R3)	諏訪形
理 事	岡 本 有 右	中村自治会会長 (R3)	中 村
理 事	河 面 清	御所自治会会長 (R3)	御 所
理 事	土 屋 恵 嗣	中之条自治会会長 (R3)	中之条
理 事	柴 田 大 八	千曲町自治会会長 (R3)	千曲町
顧 問	宮 下 省 二	城下まちづくり未来会議相談役	諏訪形
顧 問	小野澤 義 和	学識経験者	中 村

令和3年度城下地区環境建設協議会事業計画（案）

1 市・県・国への要望について

(1) 要望期日

令和3年6月19日(土)……城下地区防災センター

(2) 要 望

城下地区9自治会の要望事項をまとめて行政等(市・県・国・市社会福祉協議会)へ要望する。

(3) 要望の集約

- ・ 4月21日(水) 9自治会・各協議会からの要望の提出
- ・ 5月 6日(木)～8日(土)要望箇所の現地調査
- ・ 5月15日(土) 協議検討の上、要望事項を集約してまとめる。

(4) 説 明 会

要望事項に対する行政への説明会は、必要により7月中に開催し、現地立ち合いを行う。

(5) 回 答

市等からの回答内容の説明を頂くため10月12日(火)に開催予定。

(6) 報 告

11月16日付け城下地区9自治会へ回覧で報告する。

(7) 今後の対応

事業の進捗状況を随時確認して、次年度要望に反映できるよう努める。

3 東山城下地区メガソーラ設置に関する勉強会について

- ・施工業者は土地所有者名義を変えながら設置工事に向け地元了承に向け働きかけています。
- ・今年度も昨年度同様の活動を予定

4 「信州上田学」講演会の開催

- ・住みやすい上田のまちづくりを目指し、上田市が提唱している「信州上田学」について、講演会を開催する予定。

参 考

金窓寺川調整池整備工事について

懸案でした、城下地区の雨水対策として、R2.11月18日に工事説明会がありました。

